

気候変動影響評価報告書の名称について

令和 2 年 9 月 9 日

気候変動影響評価報告書は二部に分かれており、各分野の影響評価内容を詳しく解説したもの（パート B：450 頁程度）と、影響評価の概要に加えて気候変動の観測・予測や今後の課題などを総合的に解説したもの（パート A：100 頁程度）から構成される。

前回小委員会（令和 2 年 3 月）時点では、パート A を「本編」、パート B を「テクニカルレポート」と呼称していた。これについて、IPCC による報告書では最も詳細なパートを「本編」、主要な知見を要約したものを「政策決定者向け要約」及び「技術要約（テクニカルサマリー）」と呼んでいること等を踏まえ、「本編」と「テクニカルレポート」という名称は互いの関係性がわかりづらく、混乱を招きやすいのではないか、というご意見を複数の委員からご指摘いただいた。

上記の点について環境省にて検討した結果、パート A を「総説」、パート B を「詳細」とする案を提示し、本小委員会に諮ることとした。

なお、パート B を「詳細」と呼ぶことにすると、対応する語として「概要」や「要約」が考えられるが、パート B の概要はパート A の第 3 章「日本における気候変動による影響の概要」に対応し、パート A のその他の箇所は、パート B に記載されていない多くの事項を含むため、パート A を「概要」と呼ぶことはあまり適当ではないと考える。

気候変動影響評価報告書の名称案

パート A（約 100 頁）	パート B（約 450 頁）	備考
気候変動影響評価報告書 総説	気候変動影響評価報告書 詳細	環境省案
気候変動影響評価報告書 本編	気候変動影響評価報告書 詳細	IPCC の報告書では詳細で大部な方を「本編」と呼んでいる。
気候変動影響評価報告書 概要	気候変動影響評価報告書 詳細	「詳細」の概要はパート A の第 3 章（のみ）に相当する。
気候変動影響評価報告書	気候変動影響評価報告書 詳細	呼び分けが困難になる可能性がある。

参考：前回影響評価（平成 27 年 3 月）

パート A に相当	パート B に相当
日本における気候変動による影響の評価に関する報告と今後の課題について（意見具申） [94 頁]	日本における気候変動による影響に関する評価報告書 [431 頁]